

No.1999

2月20日例会	プログラム	「人間の能力と成果」	仲田 正幸君
2月27日例会	プログラム	「ユニバーサルデザインって何？」	NPO法人まちづくり推進機構岡山 理事 徳田 恭子様
2月20日のメニュー ・豚肉のしょうが焼き ・フクとワカサギのから揚げ ・カニの酢の物 ・山菜そば ・そばろご飯 ・コーヒー			

前回（2月13日）例会記録

出席報告	会員総数	32名	出席者数	27名	欠席者数	5名	出席率	84.38%	前回補正率	90.63%
	前回補正者	藤田君 東川君 三宅(孝)君								
	欠席者	井上君 三宅(照)君 仲田君 富永君 山田(次)君								

会長挨拶

先週、三宅保昭会員が卓話の前に、現在の「金融システム」危機、それに伴う実体経済の急激な落ち込み等お話しされました。本日はそれに関連したお話しをさせて頂きたいと思います。それは、今回の経済危機に対する対処と1929年10月29日に始まった「世界大恐慌」の経済危機に対する対処の違いをお話し致します。その違いの中から、今回の大不況は過去の大不況より、傷が浅く、立ち直りが早いと考えられます。先ず、1929年にはじまった大不況は株式暴落による実体経済の大不況です、ここでも株式暴落による金融システムの不全と最終的には、需要不足だろうと思います。需要不足に対する各国の対応は保護主義に走り、今とは違ってグローバル的な考え方もなく、自国のみの利益を考えた施策に走り、それがさらに世界貿易を委縮させ、不況を深くし、又複雑にしたと思われる。最後に頼ったのが需要不足を補う軍需であったと思います。即ち、各国の「協調して」の考え方の欠如でした。今回の危機は、サブプライムローンからの金融システムの危機（前は株式大暴落）の発生であり、市場万能主義が蔓延し、各市場のグローバル化を通し、各国に影響を与えています。今回も需要不足が大きな景気降下の原因と考えられます。そこでまず、各国が金融システムの正常化を目指し、その上、需要不足を補う（ここまでくると国の需要創出しかない）ための財政出動をするべきであるし、行おうとしております。既にG7会議及び、G20会議においても1929年の大不況対策に欠けていた「協調して」という考え方が取り入れられております。4～5日前の日経新聞の「大機小機」の欄にも各国がグローバル化された市場を見据えた上で、同時に財政出動すべきだと述べています。各国が各国の利害を超え、「協調して」行動すれば、この100年に1度の大恐慌は、克服されるものと考えます。

会長報告

- ・ 本日例会後、臨時理事役員会を開催いたします。理事役員の方はお残りください。

幹事報告

- ・ 渡辺好政直前国際ロータリー理事より松尾前会長及び藤田創立40周年実行委員長宛に40周年記念誌並びにDVD拝受のお礼状が届いております。
- ・ 葛尾ガバナー・エレクトより2009-2010年度国際ロータリーのテーマ「ロータリーの未来はあなたの手に」が届いております。
- ・ 国際ロータリー事務局より世界公共イメージ推進キャンペーンの第三弾となる「人類のために活動します」公共奉仕広告用のディスク4枚組セットが届いております。これらのディスクには、会員増強を推進し、ロータリーの「今こそポリオ撲滅のとき」キャンペーンについて伝えるためのテレビ用、印刷用、インターネット用、屋外広告（看板広告）用の広報材料が収められています。
- ・ 岡山ロータリークラブより創立75周年市民公開講演会ちらし「人を育てるー日本と中国」が届いております。日時：2009年3月3日(火) 受付14:00 会場：ホテルオークラ岡山 講師：井村雅代
- ・ 中心市街地活性化シンポジウム事務局より中心市街地活性化シンポジウム in 玉野市「コンパクトでにぎわいあふれるまちづくり」パネルディスカッションへの参加のご案内が届いております。日時：2009年2月13日(金) 14:50～ 会場：玉野市立総合文化センター

